

日本一の いちごのまち真岡で グリーンツーリズム コーディネーター



栃木県 真岡市ってどんなところ

東京から車で約2時間、新幹線とローカル鉄道を利用すると約1時間半。

真岡市（もおかし）は栃木県の南東部に位置し、東に連なる八溝山地、

西に流れる大河・鬼怒川を抱える自然環境豊かな都市です。古くから真岡市の近くを流れる鬼怒川流域で綿の栽培が行われており、農家の女性は農作業の合間にその木綿で縞木綿を織って商品にしていました。

それらは真岡木綿として知られ、問屋商人によって江戸の市場に多数出荷されていました。養蚕業、農業のまちとして成長してきた真岡市は高度経済成長期には内陸型工業団地として日本一の規模を誇るハイテク都市として成長を続けます。鎌倉と奥州をつなぐ道筋として人の往来があり、その名残で中心市街地として多くの人でにぎわっている門前（もんぜん）エリアでは、近年、いたるところで若い店主たちがお店を出店したり、空いたスペースを社会実験の場として活用したり。「いちご」の生産量で日本一となる等、様々な挑戦が連鎖的に起こり続けるまちとなっています。

なぜ真岡市でグリーンツーリズムを推進するのか

真岡市は、豊かな自然と農業資源に恵まれ、四季折々の美しい風景を楽しむことができる地域です。真岡市は、伝統的な農業や地域文化を守りつつ、これらの資源を活かした持続可能な発展を目指しています。そんな真岡市で、今まさに注目されているのが「グリーンツーリズム」です。グリーンツーリズムとは、都市部の人々が農村地域に足を運び、農業や自然体験を通じて地域文化を深く理解することを目的とした観光の形態です。この持続可能な観光は、地域の活性化に寄与するだけでなく、農村の課題解決にも大きな可能性を秘めています。

自然と文化を守り育てるグリーンツーリズム

真岡市を含む多くの地方都市では、人口減少や高齢化が深刻な問題となっており、特に農村部では若い世代の減少が顕著です。農業の担い手が不足し、このままでは地域の伝統文化や農業が次世代に受け継がれずに衰退してしまう可能性が高まります。真岡市は、肥沃な土壌と穏やかな気候を活かした農業が盛んで、特にイチゴやトマトなどの果物や野菜が名産です。

しかし、農業だけで地域経済を支えることには限界があります。そこで、農業と観光を組み合わせたグリーンツーリズムは、農業体験や自然体験を通じて都市部からの観光客を呼び込み、地域経済を活性化させる手段として期待されています。特に、真岡市のような自然豊かな地域では、地元の農産物や文化を広めることが地域の持続的発展に繋がり真岡市のブランド価値も向上するでしょう。

真岡市のグリーンツーリズムは、推進協議会の活動としてさまざまな農業体験会を実施したり体験会の協力農家が増えている一方、まだ活動や協力者が限定的であったり、地域が主体となったグリーンツーリズムの取組みも限定的な地域のみであったり、農家民宿に興味を持ってもハードルが高いといった課題もあります。

外部の視点から新たな企画を提案していただき、地元農家との交流することは、地域の結束力を強化し、住民が主体的に地域づくりに取り組むモチベーションを高める効果を生みます。グリーンツーリズムを通じて、真岡市では地域全体が一体となって観光や農業の発展を目指すことで、持続可能な未来を築いていきたいと考えています。



今回のプロジェクトで出会いたい人はこんな人

- ・ まちの人の想いに共感を寄せられる人。
- ・ まちの人と一緒に、新たな挑戦にわくわくできる人。
- ・ 農業に関心がある人。
- ・ 楽しい企画をみんなで考えることが好きな人。
- ・ 人と人との繋がりを大切に思える人。

このような業務内容を担っていただきたいです

- ・ グリーンツーリズムの活動を知り、発信する取り組み
- ・ グリーンツーリズムの担い手（サポーター）を増やす取組み
- ・ グリーンツーリズムの担い手と協力した農業体験会の開催
- ・ グリーンツーリズムの担い手としての自主活動

ここまで読んでいただき、ありがとうございます。このような活動は、ほとんどの方が経験したことがないと思います。だからこそ、一緒に悩みながら地域の方々と共につくり上げることができると考えています。日本の挑戦が生まれてきたまち、真岡市で私たちと一緒にチャレンジをしてみませんか？

ご応募お待ちしております

募集イベントや募集要項などの詳細はこちらのホームページをご覧ください

お申し込み
問い合わせ

真岡市

〒321-4395

栃木県真岡市荒町5191

メール city-pr@city.moka.lg.jp

TEL0285-81-6947

